

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 関ヶ原町

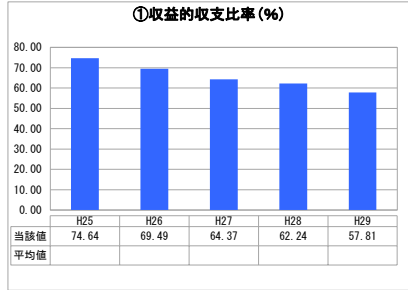
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.71	90.00	3,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,244	49.28	147.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,416	0.51	2,776.47

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



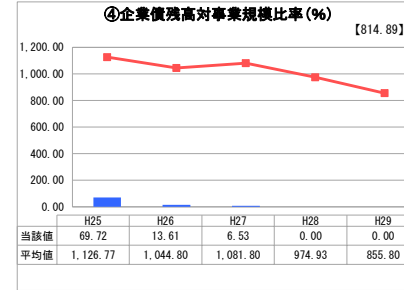
「単年度の収支」



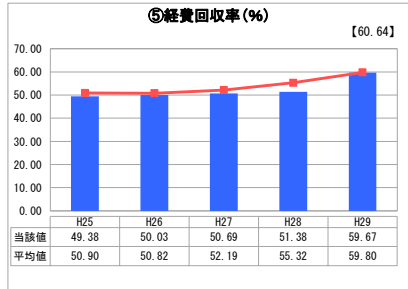
「累積欠損」



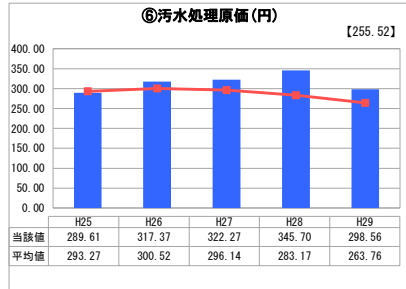
「支払能力」



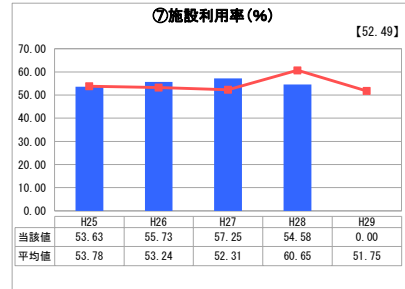
「債務残高」



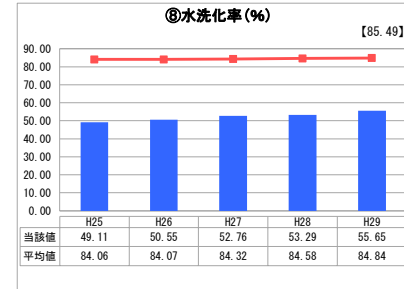
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

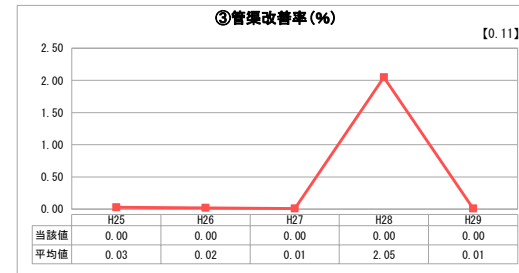
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は年々減少傾向であり、地方債償還金の返済があるが、使用料収入の増が償還額の増よりも少ないためになっていることが理由と考えられる。企業債残高対事業規模比率が低いのは、一般会計からの繰入金により企業債の償還が賄えており、一般会計繰入金の依存度が高い事業であるためである。⑦の施設利用率については、平成29年度は55.4%となっている。

2. 老朽化の状況について

玉処理区は施設老朽化のため、現在、公共下水道への接続工事を行っている。今須処理区は平成22年度供用開始した施設であるが、適正な維持管理が必要である。

全体総括

今須処理区にて水洗化率が低い(54.2%)、町広報紙掲載や個別訪問等接続促進の取り組みを強化する。計画的、効率的な維持管理に努め、ライフサイクルコストの削減に努める。又、発生汚泥の農地還元(肥料)を行っており、水資源・有機資源のリサイクルを推進するとともに汚泥の搬出、処理等の委託が不要のため経費の削減にもつながっている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。